

第三者評価の受審実績	平成 21、22、24、25 年度		
取材の対象年度	平成 24 年度	評価手法	標準の第三者評価

【取材メモ】



取材の視点

- ・第三者評価受審の目的、経緯
- ・事業評価(自己評価)のプロセスで得られた気づき
- ・利用者調査、職員の自己評価及び評価機関による評価の結果から得られた気づき
- ・改善に向けた取り組みとその成果、など

■事業所の特色

恋ヶ窪の駅から 10 分ほど歩くと、武蔵野の面影の残る静かな住宅地の中に、当事業所の建物のシンボルである三角形の屋根とシックなえんじ色の外壁が見えてきます。平屋の建物には、中庭を挟んでデイサービスと定員 9 名の認知症高齢者グループホームが併設されています。

当事業所は、家庭的な雰囲気の中で、利用者に楽しいと思ってもらえる時間を提供することを基本的なコンセプトとして、平成 20 年に開設されました。

午前中の活動として、その日の昼ごはんを作る仕事を手伝ってもらい取り組みに力を入れています。食事の献立も利用者の希望を反映して決めているとのこと。本人にその意欲があっても自宅では家事をする機会のない利用者から好評を得ていると言います。

また、併設のグループホームと合同で、地域に開いた各種の行事を活発に行っています。日頃の活動にボランティアを招き、それぞれの特技を披露してもらうなど、地域との交流を積極的に進めている点も当事業所の特徴となっています。



〔食事作り(ブログより)〕